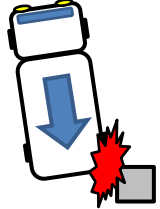
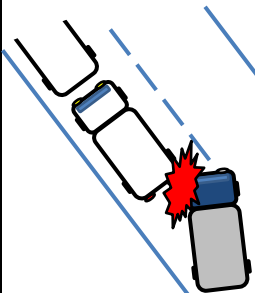
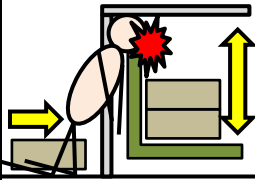

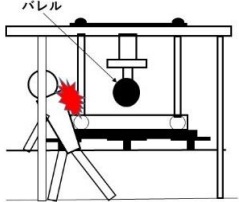


令和5年の死亡災害発生状況(確定値)

令和6年3月31日現在

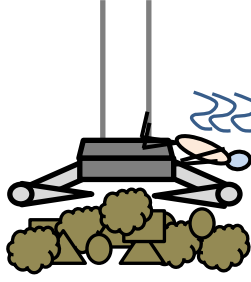
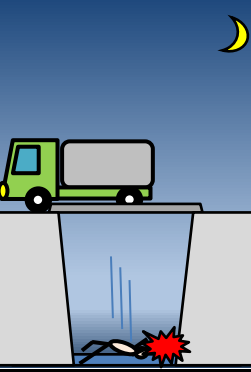
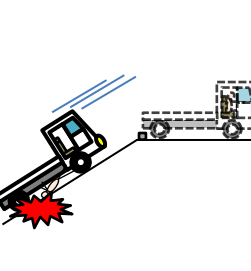
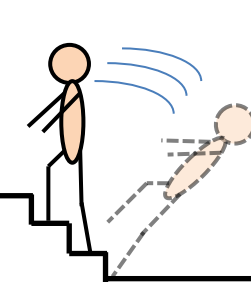
事故の型: はさまれ、巻き込まれ 3人 (33%) 墜落、転落 1人 (11%) 転倒 1人(11%)
 有害物等との接触 1人 (11%) 交通事故(道路) 1人 (11%) 交通事故(その他) 1人 (11%)
 その他 1人 (11%)

1	1月	自動車整備業	男性	自動車整備工	30代	<p>事業主が故障車を積載したトラックを運転し、事業場敷地内の建屋の中に故障車を降ろすため、後退していたところ、トラックの右後方で誘導していた被災者がトラックと建屋支柱の間にはさまれた。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラックと接触するおそれのある箇所に労働者を立ち入らせないこと。 ・誘導者には誘導の合図を確実に行わせること。 ・運転者は運転時に後方を確認すること。 		はさまれ、巻き込まれ	トラック
2	4月	一般貨物自動車運送業	男性	その他の職種	20代	<p>引越し業務のため、トラック助手席に乗車し客先へと向かっていたところ、高速道路上で渋滞が発生しており、乗車していたトラックが、渋滞最後尾の車両に追突したもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衝突被害軽減ブレーキ搭載車両の配置を推進すること。 ・交通労働災害防止にかかる教育を徹底すること。 ・運転者は十分に前方を注意しながら運転をすること。 		交通事故(道路)	トラック
3	7月	ねじ等製造業	男性	作業員・技能者	60代	<p>ねじの入ったケースを段積みするための段積み用昇降機の開口部分で頭部を挟まれたもの。本機械には進入防止用のカバーが設置されているものの、何らかの理由で進入防止カバーを越えて作業員の頭部が入った際に、昇降機が上昇したもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進入防止カバーを越えて機械内に身体の一部が入ることがないように、カバーの隙間を小さくすること。 ・機械内に身体の一部が入った際には機械が自動で停止するようなエアセンサー等を設置すること。 ・機械内に身体の一部を入れなければならない事象が発生した場合には、対象となる機械を確実に停止させること。 		はさまれ、巻き込まれ	その他の動力運搬機
4	7月	公園・遊園地	男性	作業員・技能者	70代	<p>貸しコテージ周囲の草を刈り払機を使って下刈り作業をしていたところ、蜂に刺され、アナフィラキシーショックを起こしたものの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肌を露出させないような服装等により、蜂刺され防止対策を講じること。 ・作業員のアナフィラキシーショックによる既往歴を事前に確実に把握し、必要に応じてエピペンを携帯させること。 		その他	その他の環境
5	9月	めっき業	男性	作業員・技能者	50代	<p>工場のめっきラインにおいて、めっき槽でエラーが発生したため、槽横の通路から身を乗り出し、槽に入っていたバレル上部の取っ手を左右に揺らしていたところ、後ろから移動してきたカーゴの搬送機とラインの柱に身体をはさまれたもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラブル発生の際は機械を停止してから作業を行うこと。 ・機械を停止した際は、操作盤等に対応中である旨の表示を行い、他の作業員が機械を動作させないようにすること。 		はさまれ、巻き込まれ	その他の動力運搬機

令和5年の死亡災害発生状況(確定値)

令和6年3月31日現在

事故の型: はさまれ、巻き込まれ 3人 (33%) 墜落、転落 1人 (11%) 転倒 1人(11%)
 有害物等との接触 1人 (11%) 交通事故(道路) 1人 (11%) 交通事故(その他) 1人 (11%)
 その他 1人 (11%)

6	10月	その他の廃棄物処理業	男性	オペレーター	20代	<p>ごみ処理施設において、クレーンオペレーターがごみ破砕ピット内に落下させた落下物を探すため、クレーンのごみ掴みバケット上部に乗り込み、墜落制止器具を使用し、自ら無線操作してピット内に降りたところ、意識を失いピット内で倒れたもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・酸素欠乏のおそれのある場所に立ち入る際は、事前に酸素濃度の測定を行い、酸素濃度が低い場合は、十分に換気を行うこと。 ・エアラインマスク等を着用したうえで立ち入ること。 		有害物等との接触	異常環境等
7	11月	一般貨物自動車運送業	男性	貨物自動車運転者	50代	<p>夜間に配達先近くの欄干のない橋にトラックを停車させ、トラック荷台から荷を取り出す作業をしていたところ、橋から水路へと約3m墜落したもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間は懐中電灯を使用する等、足元の安全確保を行うこと。 		墜落、転落	建築物、構築物
8	12月	自動車・同付属品製造業	男性	作業員・技能者	60代	<p>軽トラックで事業場に出勤し、事業場敷地内の従業員駐車場に車両を駐車するために、ドアを半開きにして後方を確認しながら後退していたところ、輪止めを乗り越えて、注意喚起ロープを押しちぎり、法面を逸走した。逸走の際、運転席から転落したもの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万一の際、身体が車外に放り出されないように、シートベルトの着用を徹底すること。 ・アクセルとブレーキの踏み間違えに注意すること。 		交通事故(その他)	その他の乗物
9	12月	その他の卸売業	男性	作業員・技能者	70代	<p>出勤後、2階の事務所へタイムカードを打刻に行くため階段を上り始めたところ、後ろ向きに倒れて後頭部を強打したものの。</p> <p>同種災害を防止するための対策例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・階段を昇降する際は、手すりを確実に使用すること。 		転倒	階段、棧橋